

NEWSLETTER Vol.6



- 市内の小中学校施設は、建設から30年以上経たものが全体のほぼ9割を占め、その中でも古い校舎は建て替えの時期が近付いている状況にあります。
- 本市では、未来を担う子どもたちが、心豊かでたくましく自立した人間として育つよう、これからの学校施設のあり方について「各務原市学校建替基本方針策定委員会」を設立し、調査・審議を進めています。
- ここでは、委員会の会議内容を紹介していきます。

1. 第6回各務原市学校建替基本方針策定委員会を開催しました。

令和5年6月30日（金）午後1時30分から第6回各務原市学校建替基本方針策定委員会（以下、委員会といいます。）を各務原市産業文化センターで開催しました。

2. 親子ワークショップの結果を報告しました。

令和5年6月11日（日）に市内の小学生とその保護者を対象とした、親子ワークショップを開催しました。これからの学校について、みんなで考え、意見や思いを出し合いました。

■ワークショップで出た主な意見

- ・勉強だけでなく、友達と話し、遊び、過ごす場所であって欲しい。
- ・違うクラスの子と話がしたいので、教室以外に座る場所が欲しい。
- ・図書館では好きな体勢で本が読めたり、友達と勉強して過ごしたい。
- ・雨の日でも遊べる場所がほしい。
- ・外で友達と座って話したいので、ベンチや屋根が欲しい。
- ・生き物や自然に触れられる場所で勉強したり、観察会をしたい。
- ・大きいロッカーが欲しい。



▲当日用いたシートの様子（一例）

3. 学校給食調理場と中間報告書（案）について議論しました。主な意見を紹介します。

■学校給食調理場について

- ・食育のイベント等を実施できるような環境があると良いと思う。
- ・食育の実施や温かい給食の提供はセンター方式でも可能であるように感じる。
- ・衛生基準が厳しくなり、徹底した衛生食品工場のようなものとなると、自校方式では限界があると思う。
- ・災害時の炊き出しの対応も考えると、給食センターは地域の安心につながると思う。
- ・学校給食調理場は集約化を図っていく方向性で良いと思う。



▲学校給食センター

■中間報告書（案）について

第1～6回策定委員会での審議内容を中間報告書（案）としてまとめました。多様な学習活動を展開できる空間や執務空間についてなど、これまでの内容を振り返り、新たに検討が必要な部分や課題等が明らかになりました。

- ・具体的な数値や断定的な表現の部分については、関係法令等も確認した上での整理が必要だと思う。
- ・具体的な数値を示す場合には、その根拠や考え方を含めて示す方が良い。
- ・すべてを実施できない場合もあると思うので、重視する点などを整理し、施設整備の優先順位を考えても良い。
- ・小学校と中学校それぞれの視点について、考え方を整理しても良い。

※委員会の日程は、市のホームページに掲載します。2か月に1回の開催予定です。

【お問合せ先】各務原市役所 教育委員会事務局学校施設課 施設整備係
TEL : 058-383-1814（直通）FAX : 058-389-0218
E-mail : gakkoshisetsu@city.kakamigahara.gifu.jp